

統計研修所における研修の概要

- 統計に関するわが国で唯一の専門研修機関
- 国・地方公共団体の職員及び政府関係機関の職員を対象
- 統計業務担当者に限らず、行政分野における利用者や統計学習を指導する教員も受講できるように、幅広い研修課程を設けている。

本科

統計の基礎から分析手法の習得まで、広範な応用力を養成する総合課程（3か月）
→ 各種行政施策の企画・立案・評価に必要な統計の知識・理論、分析手法の習得と広範な応用力の養成

専科

主に本科学研究の内容の一部を習得する課程（原則月曜日から金曜日までの5日間）
→ 調査設計、人口推計、経済予測、PCを用いた統計入門／統計分析、国民・県民経済計算、産業連関分析

特別講座

比較的短期間で、統計の基礎知識や分野別の専門知識を習得する課程

中央研修

統計研修所において、統計の基礎知識や分野別の専門知識を習得する課程（3～4日程度）
→ 一般／中堅職員課程、経済統計入門、地域分析とGIS、政策と統計、統計解析ソフトRで学ぶマイクロデータ利用入門

通信研修

職場において、インターネットを活用して、統計の基礎知識などを習得する課程（15日間）
→ 統計調査基礎課程（基礎、応用）

地方研修

地域において、統計の基礎知識を習得する課程（1日）
→ 地域別統計セミナー

- このほか、統計研修所においては、統計の技術や利用に関する調査研究、各分野の統計を収録した総合統計書の編集・刊行などを行っている。